5年	科目	学外実習Ⅲ	実習	集中講義	担当	長谷　賢治
制御情報工学科		Off campus Training Ⅲ	選択	1履修単位		HASE Kenji

授業の概要

社会との密接な接触を通じて，自己の適正および職業選択の方向性を把握すると共に，専門領域についての実務能力および学習意欲の向上を図る．事前に以下の2点に注意すること．
1.守秘義務など社会における工業倫理について学習しておく．
2.実習中の怪我などに備え、障害保健に加入しておく．

本校学習・教育目標（本科のみ）		目標	説明
		1	技術者の社会的役割と責任を自覚する態度
		2	自然科学の成果を社会の要請に応えて応用する能力
		3	工学技術の専門的知識を創造的に活用する能力
		4	豊かな国際感覚とコミュニケーション能力
	○	5	実践的技術者として計画的に自己研鑽を継続する姿勢

プログラム学習・教育目標（プログラム対象科目のみ）	実践指針（プログラム対象科目のみ）	実践指針のレベル（プログラム対象科目のみ）

授業目標

1.実務の現場で行われている専門領域の職務を理解し説明できる．
2.自己の適性と職業選択の方向性を把握し、自分の意見をまとめることができる．
3.高専における学習内容の位置づけを実務に照らし合わせて説明することができる．
4.実務内容をまとめることができると共に、第3者に対して説明することができる．

授業計画

		受け入れ先との打ち合わせにより授業計画を立案する
		窓口教員は担任とする
		必要に応じて学外実習前後にガイダンスを行う

評価方法と基準	実習報告書（70%）、受け入れ先の評価（20%）、自己評価（10%）として評価する。
教科書等	受け入れ企業と打ち合わせて決める
備考	1.試験や課題レポート等は、JABEE 、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2.授業参観される教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。